



JGC Logistics Team:

Professionals to serve All your transportations Needs - Worldwide

“**世界中** どこでも、何でも
運ぶプロ集団
JGC のロジスティクスチーム”

人類が作るもっとも大きな構造物の一つと言われるプラント。

大型のエネルギープラントでは規模もダイナミック。数キロメートル四方の土地に、のべ数万人の建設作業員が働き、使用される機材の量も数十万トン。まるで橋やビルのようなサイズの機器が世界中から運ばれ、建設が行われます。

このような巨大な機器の輸送にはあらゆる国の輸送に関する知識、ノウハウが欠かせません。

今回は“輸送”でプラント建設を支えるJGCのプロ集団、ロジスティクスチームの仕事をご紹介します。

最大総貨物物量 **1,350,000** フレートトン
(ベトナム案件)

モジュール最大重量 **5,623** トン
(オーストラリア案件)

機器最大重量 **2,100** トン
(サウジアラビア案件)

最大内陸輸送距離 **1,600** キロメートル
(リビア案件)

Mission

緻密な段取り Detailed planning

ロジスティクスチームの仕事は、
実際の輸送が行われる数年前からはじまります。

The logistics work starts long before the project begins

プロジェクトの応札が開始されると社内のどの部門よりも先に、ロジスティクスチームのメンバーがプロジェクトの建設予定現場に赴き、現地調査を行います。そのため、時には付近に宿泊施設がなく、砂漠で野宿をした経験があるメンバーも。

現地調査では、輸送できる機器の大きさや現場で使える機器の限界値を設定していきます。確認された輸送制限はすぐに設計部門にフィードバックされ、プラント設計の重要な要素の一つとなります。

また、ロジスティクスチームのメンバーは世界中のロジスティクス関係の法規を把握したプロフェッショナルです。輸送ルートや輸送方法の確認はもちろんのこと、対象国の法規を含めたインフラを把握することで確実な輸送を行います。

Mission

2

トランスポートレーションエンジニアリング Transportation engineering



輸送先の条件、スケジュール、コストを考慮し
最適解を導き出します。

We consider all factors including transport conditions, schedule and cost

ロジスティックスのプロフェッショナル達は、様々な制約下で巨大な機器を輸送するために、機器の図面を確認し、積込方法、輸送ルート、輸送期間、輸送時の固縛方法などを検討し、技術的な観点から最適な輸送方法を導き出します。

また、輸送の遅れはプロジェクトの進捗を大きく左右するため、陸海空様々な輸送手段を考え、建設スケジュールに合わせ寸分の狂いもなく現場に機材が到着するよう調整を行います。このようなプロジェクト全体をイメージして緻密な計画のもとに行われる“輸送”はロジスティックスのプロフェッショナルだからこそなしえる技です。

Mission

絶対安全輸送

Absolutely safe transportation

スローガンは、"絶対安全輸送"。

The slogan of the JGC Logistics team is "Absolutely safe transportation".

JGCのロジスティクスチームはどんなに厳しい環境でも、どんなにタイトなスケジュールであっても、安全な輸送を何よりも大切にしています。

しかし、"絶対安全輸送"はロジスティクスチームの働きだけでは成り立ちません。

プロジェクトが始まる時に輸送に携わる協力会社、ベンダーとセーフティーワークショップを開催し、絶対安全輸送を誓い合います。プロジェクト輸送開始前に企業間の垣根を超えて一丸となってミッションを完了します。"絶対安全輸送"を成し遂げる働きかけもJGCの持つブランド価値です。

Engineering, **P**rocurement, **L**ogistics and **C**onstruction

スケジュールを守り、競争力のあるコストで、安全に輸送する。

Cost effective, safe, on schedule transport is the aim of the JGC Logistics Team



JGC のロジスティクスチーム

あまり表には見えないロジスティクスの仕事。

ロジスティクスチームとしての知識、経験、ノウハウを結集し、緻密なプランニングを行い、一丸となって安全輸送に取り組んでいます。

プラントエンジニアリングの流れは、一般的にはEPCと呼ばれますが、JGCのロジスティクスチームはプライドを持って、EPLCと表現します。調達(Procurement)と建設(Construction)の懸け橋となる、ロジスティクス(Logistics)。

実はダイナミックなプロジェクト輸送の裏には、ロジスティクスチームのメンバーひとり一人の弛まぬ努力が常に存在しています。